

第1回にしとうきょう環境アワード受賞者一覧

No.	受賞者	団体の区分	活動の概要
1	岡庭建設株式会社	事業者	自然素材や雨水利用など、自然環境に配慮した人と地球に優しい家づくりを手掛ける。太陽や風などの自然エネルギーを建築の中に取り入れて活かす設計技術「パッシブ・デザイン」を採用し、出来るだけエネルギーを使わない家づくりに取り組んでいる。
2	高橋家屋敷林保存会	市民団体	屋敷林内は、野草園、高木林帯、竹林、前庭、草地の5つのゾーンがあり、それぞれに適切な管理を行っている。オープンガーデン(毎週金曜日10時から12時)として開放し、案内説明などを行っている。イベントの際には、ガイドツアーのガイドも行う。
3	下保谷の自然と文化を記録する会	市民団体	・刊行物の発行。 ・NPO企画提案事業「藍のマイスター養成講座」の実施 ・学校における藍染体験 ・「人権の花」運動の実施 ・東京都文化財ウィークへの参加(社会教育課と共催)
4	西東京 自然を見つめる会	市民団体	・「みどりの散策路」の設定と市民案内 ・「西東京市の木50選」の選定と市民案内 ・夏休み親子自然観察会の開催 ・市内の公園を調査し、報告書として提言と維持管理の協力
5	芝三寿会	市民団体	芝久保小学校の校庭の芝生の育成、管理作業。(芝生のポット苗づくり、ポット苗の植え付け、芝生や校庭の雑草取り、校庭の落ち葉はき)
6	柳沢小学校PTA	市民団体	PTAの中に「有志」としての「リサイクル委員会」が位置づけられている。毎年、委員会として立ち上げられ、ベルマークやインクカートリッジの回収、毎月第4水曜日には午前中に古紙回収も行っている。
7	中原小学校PTA	市民団体	PTA関連のお便りのペーパーレス化を図る。PTAのホームページを立ち上げ、そこにお便りをアップロードしている。令和3年度は移行期間として、紙を併用し、令和4年度はペーパーレスにシフトした。
8	中原小学校育成会ひばり	市民団体	1年に2回、児童ボランティアを募って正門前の花壇に花を植えている。特に卒業式前には、正門周辺が華やかな雰囲気になるようにしている。
9	ハハマナブ	市民団体	不要になった子ども服を引き取り、必要な方へ譲渡している。まだ使えるけど不要になってしまった衣料をごみにせず、必要な人へ巡らせる活動「福meguru」を行なっている。
10	西原自然公園を育成する会	市民団体	市の「公園管理協力会員」として、「西原自然公園植生管理計画」に基づく諸作業を実施している。 ・雑木林の若返り作業 ・公園の整備保全活動 ・環境イベントの実施・協力、自然環境学習のお手伝い
11	ヤギサワ 花プロジェクト2022	市民団体	・地域小中学校における花壇整備 ・地域内の公園・集合住宅の花壇整備 ・学校周年事業における学校校門周辺の環境整備(プランター作成・植栽ほか)
12	西東京市青少年育成会「にしはら」	市民団体	環境美化の事業の一つとして「クリーンデーとけやきフレンドパーク」を実施。通学路のゴミ拾いとごみの分別、リサイクル工作、ペットボトルを利用したゲーム、公民館、けやき小学校の花植え等
13	NPO法人 世界の子どもたちに暖かいセーターを送る会	NPO法人	SDGs的な精神をもって家庭などに放置・退蔵されている毛糸を活用して、国内をはじめ世界での災害や紛争などで困っている子どもたちに暖かいセーターを送る活動を地域活動として行っている。
14	NPO法人 環境の森(金井 修)	NPO法人	・市内小学校の「緑のカーテン」活動の支援をしている。今回、本町小学校、芝久保小学校より紹介あり。 ・場所づくり、土づくり、苗の準備等全面的にサポートしている。 ・定期的に「緑のカーテン通信」をメールで配信し理科の「植物の生育」の学習にも役立っている。

No.	受賞者	団体の区分	活動の概要
15	NPO法人エコメッセ 水・緑・木地 西東京店	NPO法人	・家庭で不要になった衣類や雑貨などを寄付していただき販売し、売り上げを環境活動に使用している。 ・お茶碗リサイクル活動に参加している。 ・家庭用廃油を回収し、バイオディーゼル燃料に再生する活動をしている。
16	公益社団法人 西東京市シルバー人材セ ンター	公益社団法人	・家具リサイクル事業 ・和洋服のリフォーム、華工房 和服をリフォームし、婦人服の仕立て、洋服の寸法直しやファスナーの取替などの実施。使わなくなった着物や帯などを活用し、バックや小物類も製作。
17	保谷小学校	小学校	・ペットボトルキャップのリサイクル：ペットボトルキャップを回収し、市内アニメ製作会社を通じてリサイク ルし、発生した利益を発展途上国の子どもたちのワクチン代として活用。 ・緑のカーテン：ツルレイシとヘチマを植え、緑のカーテンとして育てている。 ・ふらわーネットの花の種
18	上向台小学校	小学校	・緑のカーテンによる節電の取組み：理科室前のベランダ、南校舎に面する教室前など、日差しの強い場所に児 童が植えたヘチマ、アサガオによるグリーンカーテンを設置。 ・栽培委員会で育てた野菜から虫食いや成長しすぎたものなど、処分の対象となるものを乾燥させ、学校で飼育 している烏骨鶏の飼料としてリサイクルした。
19	東伏見小学校	小学校	みどり保全の取組「花いっぱい運動」 環境委員会の児童が、ひまわりやアサガオ、マリーゴールドを育て、花を咲かせ、種を取った。令和4年度に は、その種を植え、苗を作り、校内の児童や保護者にポット苗を配付した。
20	中原小学校 第4学年	小学校	理科室の外壁沿いに、ヘチマで緑のカーテンを作った。夏休み中も欠かさずに水をやり、理科室の布カーテンを 引かなくても適度な日陰を創ることができた。その結果、緑のカーテンに面した教室の冷房温度設定を抑えるこ とができた。
21	中原小学校 環境委員会	小学校	昨年度より、SDGsの目標達成に向けて、環境委員会として何ができるかを考え、自分たちにできることから取り 組みを始めた。
22	谷戸小学校	小学校	・節電、節水など省エネルギーに対する取組み ・みどりのカーテン、植栽などのみどりの保全の取組み：校庭の芝生化、みどりのカーテンの設置 ・リサイクル活動、食品ロスなどのごみの減量の取組み：古紙の回収と裏紙の利用、ごみの分別回収の徹底、給 食時の配膳の工夫（少なめ、普通、多め）による食べ残しの削減 ・環境学習、その他環境保全の取組み：外部講師による環境学習の実施
23	谷戸第二小学校	小学校	・毎年1階昇降口前の花壇から4階にかけて緑のカーテンを設置し、室内の温度の軽減を図っている。 ・谷戸第二小学校隣接道路における地域や市役所の方との花の苗植え活動
24	栄小学校	小学校	総合の学習にて環境問題について学習を実施した。 ①「みんなが幸せになる社会を目指して」環境問題についてSDGsのどの項目を視点を調べ、学習するかを各自で 考え、ワークシートにまとめる。②タブレットや本を活用して調べ、ワークシートに書き込む。③調べたことを 新聞にまとめ作成する。④各クラス内で新聞にまとめたことや、わかったことなどを発表し合う。
25	保谷第二小学校	小学校	保二小花プロジェクト ・ヒマワリプロジェクト：3・5年生の花大使によるヒマワリの栽培 ・松葉ボタンプロジェクト：4年生の花大使による松葉ボタンの栽培 ・近隣の大学、高校、中学校や施設への花大使による苗の贈呈
26	保谷第二小学校 環境・理科委員会	小学校	・リサイクル用紙の回収：児童が自分たちで回収作業を行い、個人情報が入っていないかをチェックし、紙を 括って束にし、回収場所に運んでいる。 ・花壇で季節に合った草花を育てている。育てた花を、地域の方々に贈呈している。

No.	受賞者	団体の区分	活動の概要
27	碧山小学校	小学校	・ビオトープの整備：外来水草の除去及び在来種の育成 ・絶滅危惧種の育成及び展示：絶滅危惧種に指定された「ニホンウナギ」の飼育と展示を行い、環境問題へ意識が向くようなきっかけづくりをしている。 ・在来水中昆虫の調査：毎年プールの学習が終わった9月頃に、プールにやってくる水生昆虫の種類と数を調査している。
28	ひばりが丘中学校	中学校	・みどりの保全の取り組み 特別支援学級の生徒による緑のカーテンの設置。空中庭園の植栽、ボランティア委員と地域育成会による年2回の中庭の花植え ・リサイクル活動 ボランティア委員によりエコキャップキャンペーンの実施
29	保谷中学校 ボランティア部	中学校	牛乳やジュースのパックなどについているTetra Pakの回収を実施。通常は家庭で出たパックを回収しているが、給食でジュースが出た時は、校内で回収、洗浄などを行う。10キロ分回収できたら、企業に送り、ベルマークのポイントに変換する。
30	柳沢中学校 50周年花壇プロジェクト事務局	中学校	花の苗植え計画や苗植えの実施、水やり、卒業式及び入学式に向けた種団子蒔きなど、地域からご協力をいただきながら、生徒ボランティアを募って活動している。
31	田無第一中学校 第3学年	中学校	・使い捨てカイロの回収：使い捨てカイロで河川をきれいにする企業に使い捨てカイロを送っている。校内に回収ボックスを設置し、保護者にも協力を呼びかけている。 ・古着deワクチン：不要になった衣類や服飾雑貨を回収し送ることで、途上国の子ども館にポリオワクチンを届けようという取り組み。
32	田無第一中学校 1J学級	中学校	・花いっぱい運動：植物を育てることによって、植物のはたらきについて知り、地球温暖化と植物の関係を学ぶ。 ・牛乳パックから和紙作り：自分たちで実際にリサイクルすることによって、ごみと思われるものが資源になること、ごみの量を減らせることを実感する。
33	田無第一中学校 生徒会本部	中学校	生徒会本部企画のSDGs運動の一環であるエコキャップ運動：本部役員が全校生徒にエコキャップ運動を呼びかけ、飲み終えたペットボトルのキャップを集めた。集めたキャップは市内事業所（エクラアニマル）に引き渡し、ワクチンに変える団体に届く。